

テクニカル・レポート

Dr.バシラス トウモロコシの観察（長野県）

TT-023

2013/3/7

1、栽培方法・施与方法

2012年4月18日に播種（品種：ゴールドラッシュ）

2012年5月17日10本2列に10gのDr.バシラスを2,000倍にしたものを散布

収穫時期は例年と同じで霜が降りるまで

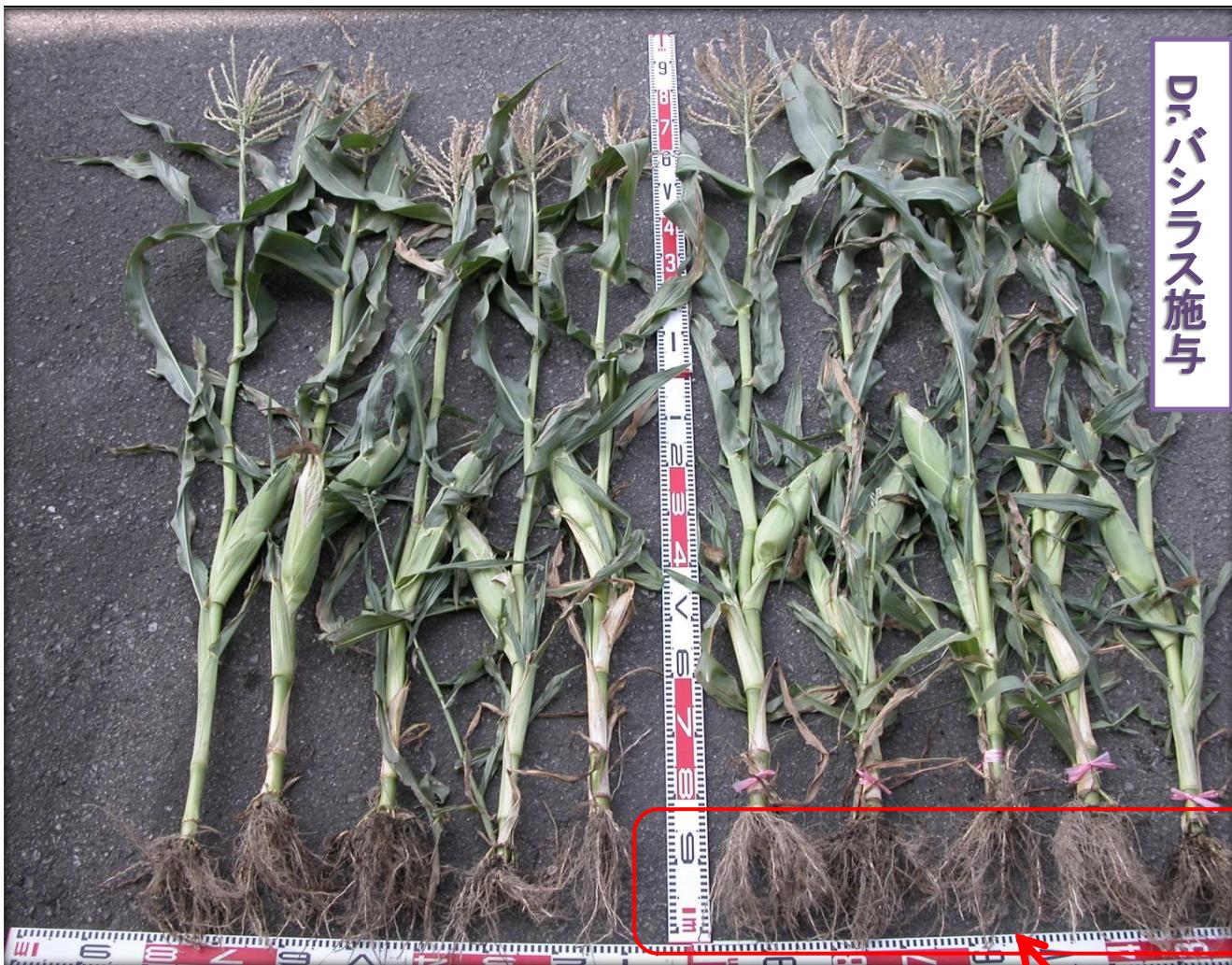
2、肥料、農薬等

鶏糞を一反当たり15kg × 50袋

オール14を一反当たり20kg × 5袋

アズミネ石灰を一反当たり20kg × 3袋

1]収穫時の様子。



非常に発達した根茎

根が良く発達しておりそれに伴い太い茎のトウモロコシが出来ている。
背丈・葉についても良く成長している。



細い根毛が非常に発達している

Dr.バシラスを使ったものは2次根、3次根と呼ばれる細い根がしっかりと発達している。
この2次根、3次根が旨味に大きな影響を与える微量要素を地中から吸収している。



粒がそろい
身が大きい

Dr.バシラスを使った方が身の粒がそろい重量のあるずっしりしたトウモロコシがとれた。
糖度はDr.バシラスを使っていない同品種のものと比較すると最高で2度強上がっており道の駅の職員からも好評を頂いた。

	草丈 (cm)	全体重 (g)	地上部重 (g)	地下部重 (g)	成果物重 (g)	茎周り (mm)	糖度 (度)
対照区 1	184	644	312.5	19.5	312	27	14.5
対照区 2	167	610	284.4	13.6	312	25	14.3
対照区 3	163	580	267.7	12.3	300	24	14.1
対照区 4	161	566	256	10	300	24	13.5
対照区 5	153	542	242.4	9.6	290	20	13.5
対照区合	828	2942	1363	65	1514	120	69.9
対照区平	165.6	588.4	272.6	13	302.8	24	14
標準誤差	5.1	17.7	12.1	1.8	4.2	1.1	0.2
処理区 1	185	792	386.6	21.4	384	29	15.8
処理区 2	178	726	372.3	17.7	336	29	14.9
処理区 3	173	694	344.9	17.1	332	27	14.9
処理区 4	171	686	343.2	16.8	326	27	14.7
処理区 5	165	658	333.1	12.9	312	25	14.7
処理区合	872	3556	1780.1	85.9	1690	137	75
処理区平	174.4	711.2	356	17.2	338	27.4	15
標準誤差	3.4	22.9	10	1.4	12.2	0.7	0.2
増減	5%	21%	31%	32%	12%	14%	7.30%

根は32%アップ・茎では31%糖度では10%弱成果物では12%のアップをしています。

2]評価・コメント

生産者からは根の生長は非常に良いと評価頂いた。
また食べると、甘みだけでなくとても美味しいトウモロコシが作れたと評価頂いた。

4]考察

Dr.バシラスに含まれるバシラス属菌が生成する発根物質が機能し、トウモロコシの旺盛な根の生育に役立ったと考えられる。それに伴い養分吸収が積極的に行われ地上部の成長も順調に行われ盛んな光合成が行われ、しっかりとした茎のトウモロコシが育ち、表からもわかるように糖度の乗った非常に美味しいトウモロコシが出来たと考えられる。この地域ではトウモロコシが非常に有名ではあるが、トウモロコシに合った環境下で育てたものでも、Dr.バシラスを使う優位性が非常に明確になった事例である。

Farmer's-Market Farmer's-Market 直売のページ Farmer's-Market Farmer's-Market 直

福

こだわり栽培 シールでPR

長野県信濃町の「道の駅しなの」



おいしさの証明にもなるシール付きのトウモロコシは新たなブランドとして期待されている(長野県信濃町で)

長野県信濃町の「道の駅しなの」のトウモロコシは、土壌活性剤を使ったこだわり栽培を示す専用シールを貼り付けて販売、おいしさの目印としてアピールしている。



シールには「元気な土壌で育った野菜」と表示。納豆菌の一種の土壌活性剤を使うことで、健康な土壌にし、おいしい元気な野菜を栽培することができるとアピールする。使用している農家では、根量の増加や茎の生育が良くなることで、収量がアップしたり、糖度が2、3高くなったり、風による倒伏が防げたという効果が見られたとしている。

「今年は試験的に導入したが、成績は上々。試験結果をまとめて、直売所出荷グループ全体で、人気ブランド化へ取り組んでいきたい」と、道の

今年も募集中

忘れぬ年 直売所川柳

「柳」を今年も募集しています。うっとうしいニュースが多い中、直売所には活気と笑いがあります。くすりと笑う話、ほのぼのとした出来事、逆に笑わずにはいられないドジな話、大いにけっこう。出荷農家の方、店舗スタッフの方、「五七五(字余り可)」に乗せ、奮って応募ください。応募は郵便番号、住所、氏名、年齢を明記のうえTEL110-8722 日本農業新聞編集局「直売」係へ。ファクス03(5265)7464、メール chokubai@agrnews.co.jp 締め切りは11月16日。優秀作品には薄謝を贈ります。

日本農業新聞



岐阜県のJAにしみのが運営する「ファーマーズマーケット海津店」は地産地消の拠点として地元の新鮮な野菜や果実、切り花などを販売する農産物直売所だ。2000

ファーマーズマーケット海津店「生産者友の会

同店では店の敷地内に畑を設け、来店者との交流に力を入れる。生産者友の会会長の岡部真正さん(67)ら同会会員が野菜の栽培講習会を開き、栽培経験がない人でも分かりやすいと好評だ。9月の講習会ではプロ栽培が盛んな海津市南濃

敷地内の畑で 栽培講習会も



産物をPRする生産者友の会会員ら

ファーマーズマーケット海津店 所在地 373の2。営業時間は午前9時～午後5年始。(☎0584(53)1147。

ての笑顔が 感動の瞬間